

きゅうしょく 給食だより 1月号

がつごう
1月号

藤支発 532号

令和8年1月8日

大阪府立藤井寺支援学校
校長 高田 清将

あけましておめでとうございます。新しい1年がはじまりました。「新春」とはいいますが、寒さはこれから一段ときびしくなります。規則正しい生活を心がけ、元気に3学期を過ごしましょう。

1月24日から30日は **全国学校給食週間** です！

学校給食は、栄養バランスのとれた食事によって子どもたちの成長を支え、食べて味わう「生きた教材」として、さまざまな役割があります。学校給食週間は、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めてもらうために行われる行事です。本校でもこの目的にそって、1月22日から29日にかけて給食週間とします。今年は「世界の料理」がテーマです。世界の料理を食べて各国の味について知ってみましょう。

きゅうしょく れきし 給食の歴史

学校給食は、明治22年に山形県の私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために食事を出したことが始まりとされています。

その後、給食は戦争により作ることができなくなってしまいました。しかし、戦後、食べ物が足りなかった日本の子どもたちのために、外国からの支援によって、給食が再び始まりました。このことを記念して、昭和25年度から全国学校給食週間が実施されています。

きゅうしょく はじ
給食の始まり（明治22年頃）



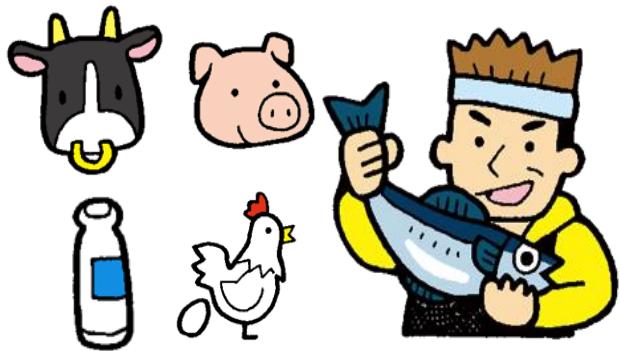
写真：(独)日本スポーツ振興センター

感謝の気持ちを伝えてみよう！

私たちが食べている食事は、たくさんの人たちに支えられて作られています。



お米や野菜を作ってくれる人



牛や鶏を育ててくれる人
魚をとってくれる人



食べ物を売ったり、
運んだりしてくれる人



食事を作ってくれる人

★感謝の気持ちを伝えることば★

関わっているたくさん的人に感謝の気持ちを込めて、
「いただきます」と「ごちそうさま」を言います。

